



STOP!! 糖尿病



十和田市立中央病院 糖尿病ケア通信 R5年度 第9号

動脈硬化を診るための生理検査

糖尿病患者さんでは、動脈硬化が進行しやすく、脳梗塞や心筋梗塞に注意が必要です。今回は当院で実施している動脈硬化を診るための主な生理検査について紹介します。

① ABIとCAVIについて

ABI（足関節上腕血圧比）とCAVI（心臓足首血管指数）は四肢の血圧と脈波を同時に測定して血管の状態を数値として評価するものです。検査時間は5分程度です。ABIは足の動脈の詰まり具合を調べる検査であり、CAVIは大動脈から足首までの動脈の硬さの程度をみる検査です。

ABI	判定
0.91～1.40	正常
0.9以下	末梢動脈疾患の疑い

CAVI値	診断基準
8.0未満	正常値
8.0～8.9	境界域
9.0以上	動脈硬化疑い

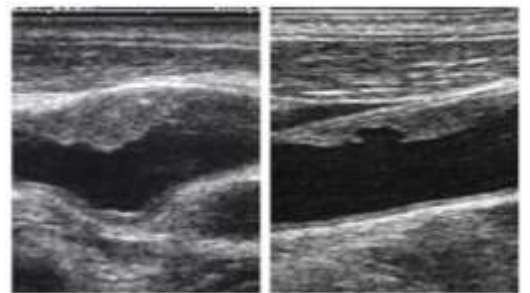


② 頸動脈エコーについて

頸動脈は動脈硬化の好発部位であるため、全身の動脈硬化の指標となります。頸動脈は体表から浅い場所にあり、エコーで見やすく、患者さんの負担も少ない検査です。特に所見のないきれいな血管は10分で終わる場合もありますが、動脈硬化が進んでいる血管は40～50分かかる場合があります。



正常な血管



コレステロール等が付着して狭くなった血管（動脈硬化が進行）